

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/eiseisomu/eiken/infectionC.htm>

神奈川県衛生研究所

第 97 号

(2001年4月)

平成13年6月22日発行

## 細菌関連情報

2001年4、腸管出血性大腸菌 O157:H7(Stx1,2)が7名(足柄上保健所管内2名、秦野保健所管内2名および大和保健所管内3名)から検出された。この時期、首都圏では「ローストビーフ」および「牛のたたき」を原因とする腸管出血性大腸菌患者が多発していたことから、これら7株の DNA 解析をおこなった。足柄上保健所および秦野保健所管内の4名由来株は、首都圏を中心に発生した腸管出血性大腸菌患者株と DNA パターンが一致していた。また、大和保健所管内の3名由来株の DNA パターンは相互に一致していたが、首都圏での流行株の DNA パターンとは異なっていた。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎患者より *E.coli* O1(3株)、O25(2株)、*C.jejuni* (2株)が分離された。なお、*E.coli*(5株)は *stx* 遺伝子を保持していなかった。

A群レンサ球菌咽頭炎患者よりA群溶レン菌1株が分離された。血清型は T4型(1株)であった。

淋病感染症患者より分離された *N.gonorrhoeae* は9株あり、それらの株はペニシリナーゼ非産生であった。

(細菌病理部)

## ウイルス関連情報

ヘルパンギーナ患者の咽頭拭い液1検体からポリオウイルス1型および2型(混合)が分離された。この患者は検体採取日の6日前にポリオワクチン接種を受けていた。

インフルエンザ様疾患患者の咽頭拭い液(6検体)から、インフルエンザウイルス A/H1(ソ連)型1株が分離された。

小田原保健所管内の飲食店でウイルスが原因と疑われた食中毒が発生した。糞便34検体中8検体から遺伝子検出法でノーウォークウイルス(NV)が検出され、そのうち1検体からは電子顕微鏡にてウイルス粒子が検出された。さらに、この食中毒の原因食品と推定された塩辛5検体中3検体から遺伝子検出法で NV が検出された。

(ウイルス部)

表1 菌種・菌型別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成13年）

菌種・群・型	ヒト由来検出数									
	1月		2月		3月		4月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Escherichia coli (Total) *	2		10		4		12		28	
Shigella (Total)					1	1			1	1
Aeromonas sobria	1								1	
Campylobacter jejuni					2		2		4	
Clostridium perfringens *	3								3	
Neisseria gonorrhoeae	6		1		1		9		17	
Streptococcus, A					4		1		5	
Klebsiella oxytoca	2				1				3	
Aeromonas caviae	1		1						2	
合計	15		12		13	1	24		64	1

【注】\* : 急性胃腸炎の原因菌と考えられるもののみ記載

Escherichia coli の内訳（再掲）	ヒト由来検出数									
	1月		2月		3月		4月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Escherichia coli 病原大腸菌血清型	2		10		4		5		21	
Escherichia coli EHEC/VTEC							7		7	
Escherichia coli その他・不明										
合計	2		10		4		12		28	

Shigella の型別（再掲）	ヒト由来検出数									
	1月		2月		3月		4月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Shigella sonnei					1	1			1	1
Shigella 群不明										
合計					1	1			1	1

表2 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成13年4月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数														計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所		
Escherichia coli (Total)*	2						2		3			7	5	12	
Campylobacter jejuni													2	2	
Neisseria gonorrhoeae													9	9	
Streptococcus, A													1	1	
合計	2						2		3			7	17	24	

\*：急性胃腸炎の原因菌と考えられるもののみ記載

Escherichia coli の内訳（再掲）	ヒト由来検出数														計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所		
Escherichia coli 病原大腸菌血清型													5	5	
Escherichia coli EHEC/VTEC	2						2		3			7		7	
Escherichia coli その他・不明															
合計	2						2		3			7	5	12	

表3 保健所・衛生研究所別検査数

（平成13年4月）

検査材料 検査所	ヒト		食品	環境	計
	総数	内海外 渡航者			
平塚	825		4		829
鎌倉	385		12		397
藤沢	633	2		6	639
小田原	2,319		29	25	2,373
茅ヶ崎	417	1			417
三崎	210		7		217
秦野	439		5		444
厚木	1,544		14	10	1,568
大和	180		8		188
足柄上	497				497
津久井	215		22		237
小計	7,664	3	101	41	7,806
衛生研究所	27			10	37
計	7,691	3	101	51	7,843

表4 ウイルス検出状況（月別）

（平成13年 4月27日現在検出分）

検出ウイルス	平成12年計	1月	2月	3月	4月	平成13年累計
インフルエンザ AH1	85	10	17	2	1	30
インフルエンザ AH3	69	1	1	3		5
インフルエンザ B			2	6		8
ポリオ 1					1	1
ポリオ 2					1	1
コクサッキー A2	1			1		1
コクサッキー A4	8					
コクサッキー A5	2					
コクサッキー A6	13					
コクサッキー A10	14					
コクサッキー A16	8					
エコー 3	1					
エコー 11	1					
エコー 22	1					
エンテロ 71	38					
ムンプス	1			1		1
アデノ 1	3	1				1
アデノ 2	1		1			1
アデノ 3	6		3	4		7
アデノ 4				1		1
アデノ 5	1					
アデノ 8	1					
アデノ 19	1					
アデノ（型未決定）						
単純ヘルペス 1	2			1		1
小型球形	4	1				1
ノーウォーク	38	15			11	26
未同定						
合計	301	28	24	19	14	85

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成13年 4月27日現在検出分）

疾患名	麻疹様疾患	流行性耳下腺炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	インフルエンザ様	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	食中毒	その他	合計
インフルエンザ AH1						1								1
ポリオ 1					1									1
ポリオ 2					1									1
アデノ（型未決定）														
小型球形														
ノーウォーク												8	3	11
未同定														
合計					2	1						8	3	14